

先週の説教要旨

「無駄遣いされた香油」井上隆晶牧師
ヤコブ 1 : 16~24、マタイ 26 : 6~16

❶【香油を注いだマリア】イエス様がベタニアで重い皮膚病の人シモンの家におられたとき、一人の女の人が極めて高価な香油の入った石膏の壺を持って近寄り、イエス様の頭に香油を注ぎかけました。ヨハネの福音書によると、この重い皮膚病の人シモンとはラザロであり、香油を注いだ女の人は彼の姉妹であるマリアだと書かれています。それを見て弟子たちは憤慨し「なぜ、こんな無駄遣いをするのか。高く売って、貧しい人々に施すことが出来たのに。」(8~9節)と言って、彼女を厳しくとがめました。これはとても失礼な言葉です。マリアが自分の香油を何に使おうと彼女の自由なのに、弟子たちは他人の持ち物にまで指図しています。またイエス様に対しても失礼です。イエス様に高価な香油を使うなんて無駄だと言っているのですから。ここに弟子たちの偽善が現れています。弟子たちはいつも「計算」で生きています。人や神を自分の役に立つかどうかで見えており、自分の夢を実現させる為に人もイエス様も利用しているのです。これに対しイエス様は「なぜ、この人を困らせるのか。私に良いことをしてくれたのだ。貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるが、私はいつも一緒にいるわけではない。この人は私の体に香油を注いで、私を葬る準備をしてくれた。」(10~12節)と言われました。マリアは、なぜこのような行動に出たのでしょうか。一つは兄弟ラザロを救って下さったことの感謝であり、もう一つはイエス様がまもなく死なれることを知っていたからだと思います。イエス様の言われた通り、これは「イエス様の葬りの準備」となり

ました。イエス様を墓に収めた時、香油を塗る時間がなかったからです。それと同時に頭に油を注ぐのは「メシアの任職式」の行為です。マリアの油注ぎは、イエス様を王として受け入れたことの告白です。彼女以外、誰もこの方に油を注ぎませんでした。

❷【ユダの罪=貪欲(偶像崇拜)】この出来事後、ユダはイエス様を裏切り、祭司長たちから銀貨 30 枚(約 90 万円)を受け取りました。これは奴隷の値段です。ユダはなぜ裏切ったのでしょうか。教父たちは口を揃えて「貪欲」のせいであると言っています。昔の祈禱文にこのように書かれています。貪欲は偶像崇拜と同じです。それは満足できない心であり、すべての恵みを無駄にします。ユダは聖餐をいただいた手を銀貨に伸ばし、洗ってもらった足で祭司長たちの所に走って行きました。せっかくイエス様の近くにいる教えを聞き、たくさんの恵みをもらいながら、彼はそれに満足しませんでした。なぜなら彼はイスラエルの再建という偶像にしがみつき、それを追いかけていたからです。

❸【神の愛の無駄遣い】この後、イエス様は「世界中どこでも、この福音が宣べ伝えられる所では、この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう。」(13節)と言われ、マリアを褒められました。マリアがしたことは、キリストが私たちにしてくれた福音のひな型だったからです。すなわちマリアが石膏の壺を壊して、その中の香油を全部注いだように、イエス様は自分の体を十字架の上で壊して、自分の持っている愛と命と赦しを一滴残らず、全ての人に注がれたからです。ヨハネ福音書では「家は香油の香りでいっぱいになった。」(ヨハネ 12 : 3)とありますが、この世はキリストの愛と命と赦しで満ち満ちておられるのです。ユダは「なぜ、こんなに無駄遣いを

週報

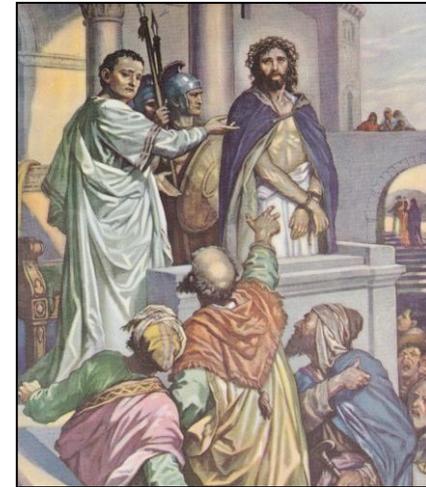
日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957 年 12 月 1 日 教会設立 2001 年 12 月 2 日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

Eメールアドレス : 3533osgm@jcom.zaq.ne.jp
ホームページアドレス : <https://miyakojima-church1.com>
郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所
主任牧師 井上隆晶

2026年3月15日 No.1864



《見よ、この男だ》

都島教会の 2025 年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなし。」(詩編 127 : 1)

2025 年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 28 名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 信徒の交わりを大切にします。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。